

## 第1回 佐賀市立図書館大規模改修基本構想・基本計画策定委員会 開催結果

日時：令和5年8月8日 14:00～15:30

場所：図書館大集会室（2F）

参加者：策定委員会委員

青木茂建築工房

佐賀市 図書館3名ほか関係職員（教育部長、建築住宅課3名）

1. 委嘱状交付 7名の委員対し、教育部長が委嘱状を交付。

委員名簿

所 属	職 名	氏 名
学校法人佐賀清和学園	理事長	富吉 賢太郎
株式会社サガススポーツクラブ	代表取締役社長	田畠 寿太郎
佐賀女子短期大学	名誉教授	白根 恵子
NPO法人poco a bocco	代表理事	寺野 幸子
株式会社サードプレイス	代表	清田 祥一朗
図書館を友とする会・さが	会員	迎 洋子
一般公募		飯盛 裕介

委員長：白根恵子氏

副委員長：富吉賢太郎氏

2. 主な意見等（オブザーバーの意見も含む）

- （人が集まり、寛いで滞在できるような）空間を作ることが重要と考える。  
図書館がそういう場を提供できれば、必ずしも本に拘る必要は無い。
- まず本来の図書館機能を充実させることが、重要である。  
その上で、今まで図書館に来なかった人をどう引き付けるかを考えるべき。
- 建物を造り込んでしまうと、その後の状況変化に対応しにくくなるので、（ある程度汎用性のある空間にして、） その中で人がどのように関わっていくかを考えるべき。
- 図書館に人が集まるためには、イベントの実施が有効と考えるが、これを持続させるためには、キーパーソンの存在が必要。
- 外出に不安のある人たちが、どういうふうにしたら訪れたいくなるのか、当事者の声を聴いてほしい。
- 読書バリアフリーに関して、健常者が想像することと、障がいのある方が求めていることが食い違うことがあるので、そのことを念頭に置いて、事業を進めていくことが必要。